山内 勝也(九州大学·芸術工学研究院)

yamauchi@design.kyushu-u.ac.jp

1994年 九州芸術工科大学音響設計学科 入学

1998年 同大学院修士課程入学

2000年 同大学院博士後期課程入学

2004年 九州大学芸術工学研究院 学術研究員

2006年 長崎大学工学部 助手(2007年より助教)

2010年 ミュンヘン工科大学 客員研究員

2015年 九州大学芸術工学研究院 助教(2016年より准教授)

消極的&ラッキー

大きなビジョンなく進学

運良く就職

多くの人とのご縁で

- 日本音響学会(編集委員,騒音・振動研究会副委員長,音のデザイン委員会委員), 日本騒音制御工学会(理事・国際部会長),自動車技術会(車外騒音部門委員会幹事), Inter-noise 2023組織委員,イタリア音響学会・編集委員,ISO/TC43/SC2委員他

山内 勝也(九州大学·芸術工学研究院)

yamauchi@design.kyushu-u.ac.jp

1994年 九州芸術工科大学音響設計学科 入学

1998年 同大学院修士課程入学

2000年 同大学院博士後期課程入学

2004年 九州大学芸術工学研究院 学術研究員

2006年 長崎大学工学部 助手(2007年より助教)

2010年 ミュンヘン工科大学 客員研究員

2015年 九州大学芸術工学研究院 助教(2016年より准教授)

消極的&ラッキー

大きなビジョンなく進学

運良く就職

多くの人とのご縁で

運良く就職できて、多くの人とのご縁で今の仕事をしています。

平凡な大学院生でも思いもよらぬキャリアの出会いがある(かも)ということと、

国際関係の経験をご紹介して、それが、みなさんに自信や夢につながれば。

大学(九州芸工大音響設計学科)入学まで

消極的&ラッキー

- 1975年生まれ うさぎ年乙女座
- 神戸市出身
- ・ 小~中学校が80年代(ファミコン世代), 高校時代は吹奏楽部 (Perc.)
- ・ 医学部は行きたくない (そもそも成績が足りない) でも, 何か主張しないと…
- ・ 九州芸術工科大学音響設計学科を知る!
- ・音楽は好き。でも演奏を仕事にできる才能はない。何か音楽の周辺を仕事に?
- ・ 高3の夏までコンクールに明け暮れた奴には高いハードル
- ・ 国語184点!の奇跡/滑り込みで合格

大学(九州芸工大音響設計学科)

大きなビジョンもなく...

- 芸工オーケストラ
- ・授業は楽しいけど、数学が苦手
- ・ 卒研配属:サイン音に関する研究 岩宮眞一郎先生
- ・のほほんと大学院進学
- ・ M1の秋に初めての学会発表(音響学会研発)
- ・「音響学会に名前が載った!」うれしい
- ・博士課程の先輩やポスドクの先輩の影響を受けて「D進してみてもいいかも?」
- ・ 博士論文テーマ「サイン音の機能イメージと擬音語表現の分析」
- ・甘くはない。3年では論文をまとめられず、4年かけて学位取得。

ポスドク〜助手

運良く・・・

- ・ 九大芸術工学部ポスドクの新規採用(2年任期)
- ・新テーマも動き出し、実験出張や学会発表、論文投稿など充実
 - ・でも、公募は出しても出しても不採用
 - ・ 任期が終わる2年目の冬、インフルで高熱にうなされつつ提出した応募書類…
- ・ 2006年~ 長崎大学工学部情報システム工学科 助手(2007年~ 助教) *現・長崎大学情報工学部 音声言語処理研究室(松永昭一教授, NTT→長崎大) 音源識別,連続自由発話音声認識などもお手伝い ASJ九州支部の幹事など

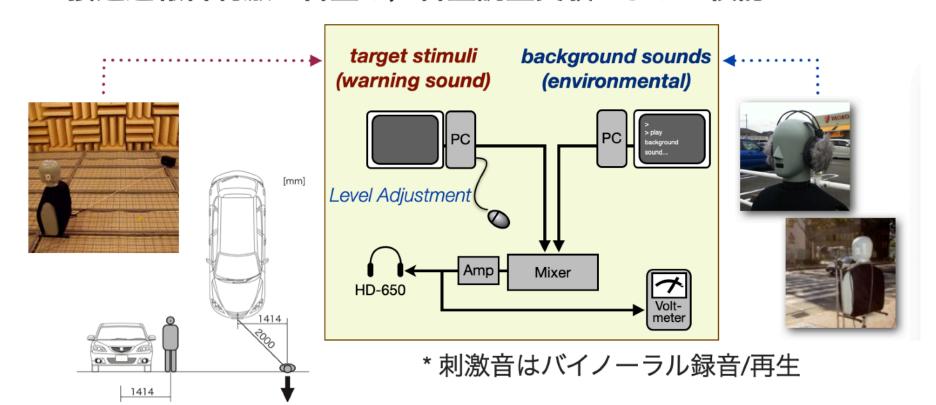
英語下手くそ、国際学会で四苦八苦

サイン音×音響情報処理の課題を模索するも、資金獲得の道は遠く・・・

→2009年のNHKニュースでビビッと!

- プリウスが静かで困るから音をつける??
- 注目されているならやってみようか。
- ・結果的には、定量的な研究をした人は少なかった。

- 接近通報音刺激の音量を,音量調整実験によって検討



- ・ ばら撒き系(?)政策で海外派遣→政権交代による事業仕分けで消滅
- ・ 科研費若手Bを渡航費とか計測器で膨らませて若手Aに応募(やけっぱち)
- ・結果、大当たり!
- たまたま同時期の大学事業でミュンヘン工科大 H. Fastl教授のもとへ留学

UN基準会議「来週のジュネーブか,再来週のベルリンに来てくれない?」

いろいろなご縁

- ・2010~ 国連QRTV (なぜか飲み会常連に認定してもらい,連日連夜…)
- ・ 2010.7 朝日新聞GLOBE「音探しの新時代」 (共同研究に繋がった)
- ・2011~ 音のデザイン調査研究委員会 委員
- ・2013~ 騒音・振動研究会 幹事(坂本慎一委員長)
 - ・幹事として毎月の研究会でたくさんの方と知り合った
 - ・翌年から道路交通騒音調査研究委員会にも
- ・2017~ 自動車技術会・車外騒音委員会(山崎徹委員長)
- ・ 2013年ごろからは、国際会議のSession/Area Organizerも積極的に挑戦
- ・ 2015 九大芸工の助教公募(環境騒音,音の評価,録音実習科目)
- ・ 芸工音響の卒業生教員として、多くのご縁に恵まれて…

国連QRTVの経験



Informal group of "Quiet Road Transport Vehicles (QRTV)"

established in 2010 within UN/ECE/WP29/GRB (Working Party on Noise, World Forum for Harmonization of Vehicle Regulations)





May 2011, San Diego, USA

これからキャリア設計を行う学生/若手研究者へのメッセージ

- ・ 帰国後からは、それ自体や期間中の国連会議の実績などで少しは自信がついた
- ・ 国連基準や共同研究での議論で研究課題の位置付けを具体的に論じられるように →資金獲得の打率アップ
- ・山内の場合はキャリアがつながったきっかけは留学
- ・留学にチャレンジしてみてよかった(学生時代にできたらもっと良かった)
- ・研究者としてのキャリアを切り拓くためには、ご縁を大切にすることも。
- 世間は意外と狭い。いろいろな縁はつながっている。
- 研究者(特に大学教員?)は、研究業績はもちろん、議論し助け合える・助けてもらえる人のネットワークを広げる人柄がとても大事

九州大学芸術工学部/大橋キャンパス

